

鉄筋用親網支柱

【落下阻止性能 100kg 対応】

(一社) 仮設工業会「親網支柱」認定基準第2種に準拠

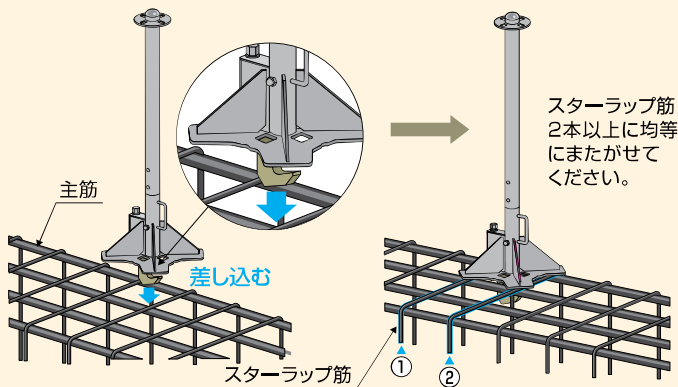
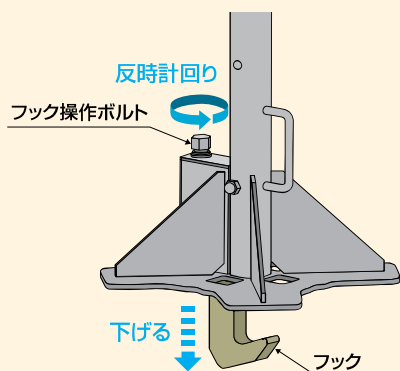
取付け方

- ① 鉄筋用親網支柱のフック操作ボルトを反時計回りに回し、フックを下げる。

※ 使用前に製品各部に変形・摩耗や作動に異常のないことを確認してください。
・電動インパクト(2面幅21)を使用してください。

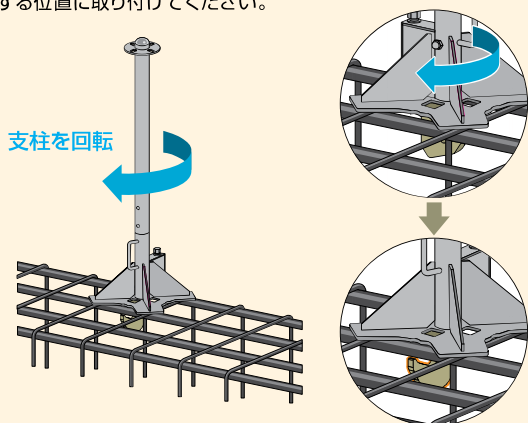
- ② フック部を設置位置の鉄筋のすきまに差し込む。

・フックを主筋と平行(下図参照)に向けて差し込んでください。



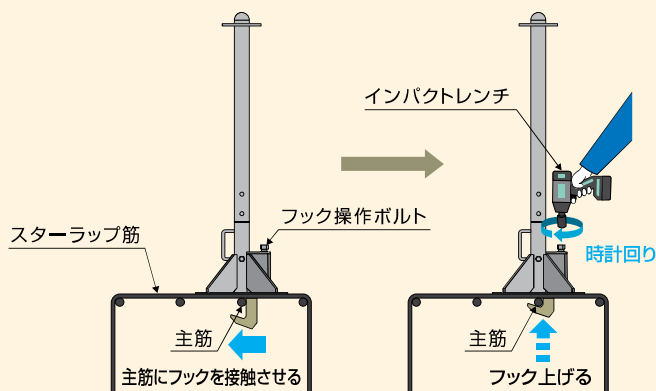
- ③ 鉄筋用親網支柱を回転させ、フックを固定する主筋の方向へ向ける。支柱を寄せ、フックが主筋にしっかり接触するように調整する。

・ベースプレートが2本以上のスターラップ筋に均等にまたがり安定する位置に取り付けてください。



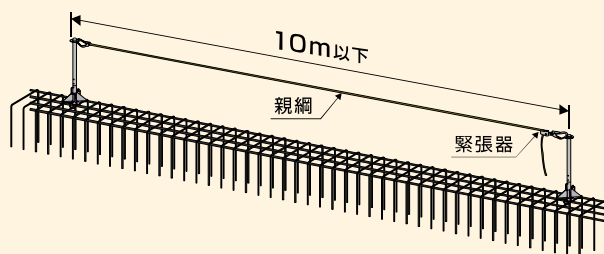
- ④ フック操作ボルトを時計回りに回し、フックを上げて主筋にしっかり固定する。

・締付トルクは、70~80N・m
・設置後、確実に取り付けられていることを確認してください。



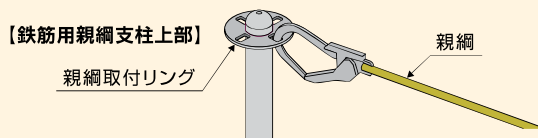
- ⑤ ①~④を繰り返し同様にスパン反対側の鉄筋用親網支柱を設置する。

・支柱の間隔は10m以下にしてください。

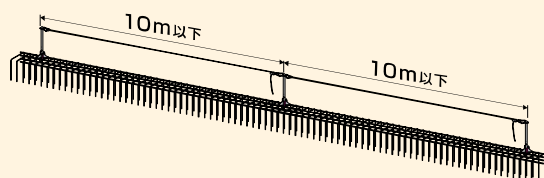


- ⑥ 鉄筋用親網支柱上部の親網取付リングの穴を利用し、支柱間に親網を張る。

・親網は緊張器を用いてたるまない様に張ってください。
・親網および緊張器は(一社)仮設工業会認定品を使用してください。
・親網は損傷や摩耗等のあるものや、使用中に落下衝撃を受けたものは使用しないでください。

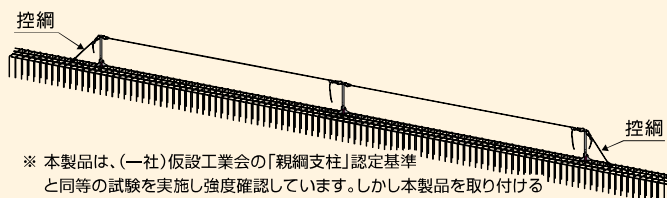


- ⑦ ⑤~⑥を繰り返し同様に必要な長さ、スパン数の鉄筋用親網支柱および親網を設置する。



- ⑧ スパン両端部に控網を設置する(推奨)

・控網は緊張器を使用して角度をつけて設置してください。



※ 本製品は、(一社)仮設工業会の「親網支柱」認定基準と同等の試験を実施し強度確認しています。しかし本製品を取り付ける鉄筋の状態には様々な差異がある為、控網の取り付けを推奨します。